

日本の金融庁が 2022 年 1 2 月に公表した「ESG 評価・データ提供機関に係る行動規範」について

Sustainable1 の表明

Sustainable1 は、S&P グローバル ESG スコアを作成している ESG 評価を提供する機関として、金融庁が公表した ESG 行動規範の趣旨に賛同し、これを受け入れることを表明します。ESG 行動規範への対応状況については、以下のとおりです。

また、原則（以下に詳述）は、ESG 評価・データ提供機関として、ESG データ製品の定義の範囲内に含まれると当社が考える特定の Sustainable1 データ製品にも適用されます。

1. 原則 1（品質の確保）：

ESG 評価・データ提供機関は、提供する ESG 評価・データの品質確保を図るべきであり、このために必要な基本的手続き等を定めるべきである。

Sustainable1 は、データ分析が綿密であること、また手法は一貫して適用され定期的にレビューされることを確保するための手段を確立しています。Sustainable1 は、S&P グローバル ESG スコア（スコアデータ）の作成に使用される ESG データの品質を測定し、向上させるための多層的なアプローチを採用しています。これは、データの重要性と、データの取得が企業からの直接的な関与によるものか公開情報によるものかに応じて、アナリストによるいくつかの段階でのデータ品質のチェックで構成されます。特定のデータセットは、さらなるサンプルチェックに加えて、2 段階の品質チェックを受けます。また Sustainable1 データ組織のチームは、検査のために月次でランダムに企業を選択し、誤りがあれば特定し、健全性スコアカードを作成するサンプリングプログラムの実行を確立しました。このチームは、事前に定義された方法に従って、品質にとって重要と見なされる分野に重点的に取り組んでいます。また、Sustainable1 はまた、品質確保のためのプロセスを定期的に再評価し、調査結果と根本原因分析に照らして調整します。

スコアデータの品質と客観性を確保するために、Sustainable1 は毎年、評価プロセスの外部監査を実施する独立した第三者を自主的に任命しています。対象となるステートメントは[こちら](#)をご参照ください。

Sustainable1 は、高品質のスコアデータの收拾と維持を更にサポートするために、データ収集を変更および一元化するための新しいプロセスとシステムの導入、既存のデータ検証およびエラーチェックシステムを検証して強化するための監査の拡大など、高品質なスコアデータの作成をさらに支援するためのいくつかの重要な取り組みを実施しています。また、手動による介入を最小限に抑え、データ品質の全体的な向上につながる自動化と機械学習（ML）への投資も増加しております。

Sustainable1 は (i) S&P グローバル ESG スコアの基礎となる手法とモデルの検証、及び (ii) S&P グローバル ESG スコアの手法、モデル、手法の適用についての定期的なレビューを独立して実行する

責任を負う分析リスク・品質（Analytic Risk and Quality/ARQ）部門を設立しました。ARQ はまた、中立的な立場から方法論とモデルガバナンス委員会において重要な役割を果たし、確立された品質基準が確実に適用されるようにします。

さらに、Sustainable1 は、データと内部品質基準の順守に関連する包括的な品質プロセスとフレームワークに関連する監視を維持するために、追加の独立した品質機能を確立する過程にあります。

2. 原則 2（人材の育成）：

ESG 評価・データ提供機関は、自らが提供する評価・データ提供サービスの品質を確保するために必要な専門人材等を確保し、また、自社において、専門的能力の育成等を図るべきである。

Sustainable1 は、効率的で円滑な事業運営を可能にするために、持続可能性と財務知識の適切なバランスを備えた十分なスキルを持つ人材を採用することに尽力しています。

Sustainable1 は、優秀な人材を引き付けて維持するために重点を置いた採用基準を設定しており、人材の能力をさらに向上させるためのスキルを身につけるための継続的な学習と能力開発の機会を提供しています。さらに、すべての Sustainable1 従業員が完了しなければならないリスクとコンプライアンスに関する重要な必須トレーニング要件があります。

Sustainable1 の従業員は、マネージャーと定期的にパフォーマンスについて対話を行い、毎年通年のパフォーマンス評価を行います。

3. 原則 3（独立性の確保・利益相反の管理）：

ESG 評価・データ提供機関は、独立して意思決定を行い、自らの組織・オーナーシップ、事業、投資や資金調達、その他役職員の報酬等から生じ得る利益相反に適切に対処できるよう、実効的な方針を定めるべきである。利益相反については、自ら、業務の独立性・客観性・中立性を損なう可能性のある業務・場面を特定し、潜在的な利益相反を回避し、又はリスクを適切に管理・低減するべきである。

Sustainable1 は、すべての従業員が独立し、利益相反から適切に隔離するために、Sustainable1 の部門としての独立性、客観性規範ポリシー、Sustainable1 証券開示ポリシー、およびポリシー上の役割の指定（総称して「ポリシー」）を含むいくつかの管理を導入しています。特に、方針と管理は次のことを推進します：

- a) 実際の又は潜在的な利益相反の特定、管理、排除、及び適切に開示することを可能にするためのコンプライアンスに関する取決め

- b) S&P グローバル ESG スコアの分析・開発を行う従業員と、営業・マーケティング活動に従事する従業員との明確な分離
- c) 個人的利益（有価証券の保有や社外活動を含む）が顧客に対する独立性及び客観性の義務に抵触しないことを確保するための従業員に対する制限
- d) 独立性と客観性の行使を強化する従業員の報告ラインと報酬制度

ESG スコアが付与された企業とコンサルティング、アドバイザー、又はその他のビジネス上の関係がある場合、Sustainable1 は、そのような関係が、それらの企業に対して独立した客観的な評価を提供する能力を損なうことがないことを確保するための適切な措置を講じます。

4. 原則 4（透明性の確保）：

ESG 評価・データ提供機関は、透明性の確保を本質的かつ優先的な課題と認識して、評価等の目的・基本的方法論等、サービス提供に当たっての基本的考え方を一般に明らかにするべきである。また、提供するサービスの策定方法・プロセス等について、十分な開示を行うべきである。

Sustainable1 では、S&P グローバル ESG スコアを作成するためのフレームワークとプロセスについて、[ウェブサイト](#)で公表しています。スコアデータは、評価が作成及び維持される指定された IT データベース内に、監査証跡、証拠及び理論的根拠を文書化しています。Sustainable1 の手法（関連する論理的根拠、形式、背景情報、加重を含む）に関する情報は、[こちら](#)をご参照ください。

Sustainable1 は、コーポレート・サステナビリティ評価（CSA）の一部として評価した S&P グローバル ESG スコアを他の分野とともにウェブサイトに目立つように開示し、ユーザーが関連する状況を理解するのを支援しています。このような追加開示の例としては、データの入手可能性、最終更新日、スコアの履歴、及び業界比較があります。

さらに、独立した分析リスク・品質（ARQ）部門が行うモニタリングにより、基礎となる手法において提供される透明性の十分性、及び S&P グローバル ESG スコアの算出における当該手法の適用が評価されます。

5. 原則 5（守秘義務）：

ESG 評価・データ提供機関は、業務に際して非公開情報を取得する場合には、これを適切に保護するための方針・手続きを定めるべきである。

Sustainable1 は、S&P グローバル ESG スコア（以下「機密情報」）の作成に関連して受領した非公開及び/又は機密情報を公開又は開示しません。ただし、かかる開示が法律又は規制により要求される場合、又はかかる機密情報の所有者の事前同意がある場合は、この限りではありません。した

がって、Sustainable1 は、(i) 詐欺、窃盗、誤用、又は不注意による公表からの秘密情報の保護すること、(ii) S&P グローバル ESG スコアの整合性を損なうことなく、また秘密情報や知的財産の保護を必要以上のリスクにさらすことなく、効果的な組織横断的協力を可能にすること；(iii) システムへのアクセスが、知る必要があることを前提としてのみ提供されることを確保するための、論理的かつ実地的な運用手順を確立しました。

6. 原則 6 (企業とのコミュニケーション) :

ESG 評価・データ提供機関は、企業からの情報収集が評価機関・企業双方にとって効率的となり、また必要な情報が十分に得られるよう、工夫・改善すべきである。評価等の対象企業から開示される評価等の情報源に重要又は合理的な問題提起があった場合には、ESG 評価・データ提供機関は、これに適切に対処すべきである。

コーポレート・サステナビリティ評価プロセスで Sustainable1 に関与する企業には、データ収集期間とプロセスに関する包括的でタイムリーな情報が提供されます。

Sustainable1 は、毎月ウェブキャストと対面ワークショップを実施し、スコアデータ、手法、参加プロセスに関する情報を提供します。

Sustainable1 では、S&P グローバル ESG スコア又はスコアデータに関する質問や懸念について、企業が問い合わせするための措置と公式の連絡先を設置しています。措置には、必要に応じて、S&P グローバル ESG スコア公表前又は公表後のレビューを開始するプロセスが含まれます。